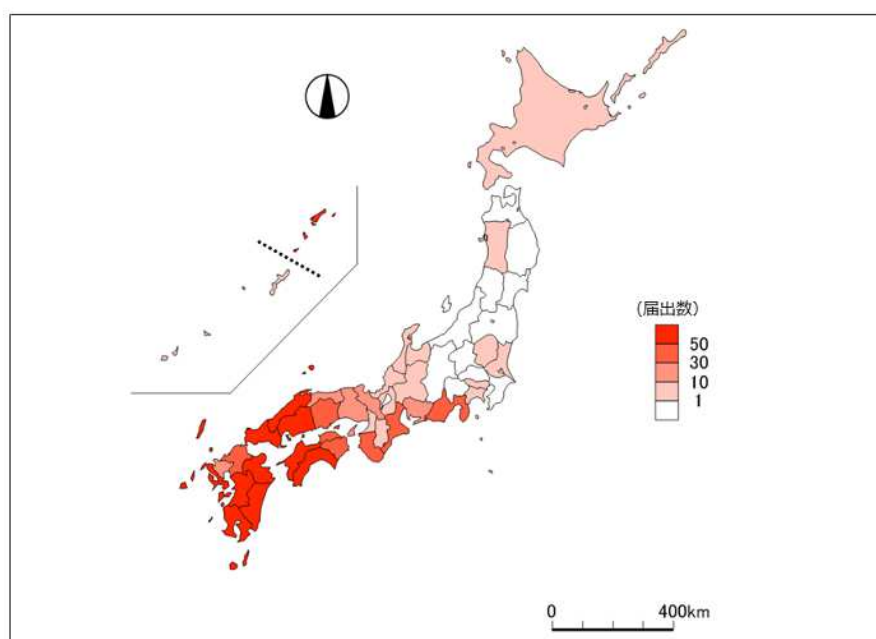


【重症熱性血小板減少症候群 (severe fever with thrombocytopenia syndrome: SFTS)】

(1) ヒトにおける SFTS の発生状況

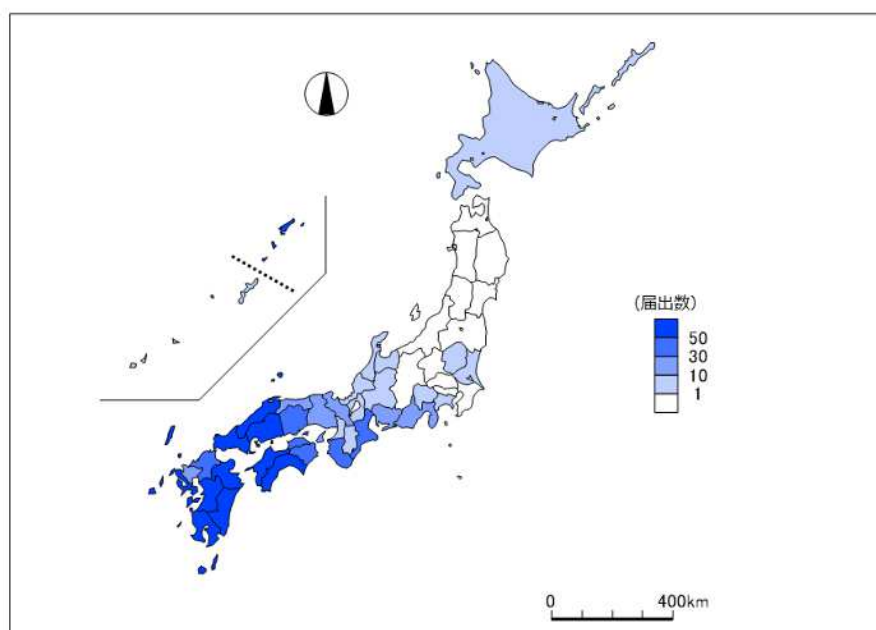
SFTS は、2013 年 3 月 4 日に感染症法における 4 類感染症 (全数把握対象疾患) に定められ、2025 年 10 月 31 日までに全国で累計 1,242 例が感染症発生動向調査に届出されている¹。2025 年は、全国で合計 191 例の届出があった²。神奈川県では、2025 年 7 月に県内 2 例目となる届出があり、神奈川県内を推定感染地域とする症例が初めて確認された (1 例目 (2023 年 8 月) の推定感染地域は宮崎県内)³。翌 8 月には、北海道内を推定感染地域とする症例の届出もあった⁴。西日本が中心であった推定感染地域は東日本に拡大しており、今後の県内発生に備え、住民や医療機関に対する注意喚起が必要である。

図2. SFTS届出症例の届出地域 (n=1,242、2025年10月31日現在)



| 届出都道府県 | 届出数 |
|--------|-----|
| 北海道 | 1 |
| 秋田県 | 1 |
| 茨城県 | 1 |
| 栃木県 | 2 |
| 東京都 | 2 |
| 神奈川県 | 2 |
| 富山県 | 2 |
| 石川県 | 2 |
| 福井県 | 4 |
| 岐阜県 | 1 |
| 静岡県 | 31 |
| 愛知県 | 12 |
| 三重県 | 38 |
| 滋賀県 | 1 |
| 京都府 | 20 |
| 大阪府 | 8 |
| 兵庫県 | 25 |
| 奈良県 | 1 |
| 和歌山県 | 43 |
| 鳥取県 | 13 |
| 島根県 | 65 |
| 岡山県 | 39 |
| 広島県 | 99 |
| 山口県 | 94 |
| 徳島県 | 45 |
| 香川県 | 32 |
| 愛媛県 | 55 |
| 高知県 | 96 |
| 福岡県 | 37 |
| 佐賀県 | 29 |
| 長崎県 | 97 |
| 熊本県 | 60 |
| 大分県 | 70 |
| 宮崎県 | 124 |
| 鹿児島県 | 88 |
| 沖縄県 | 2 |

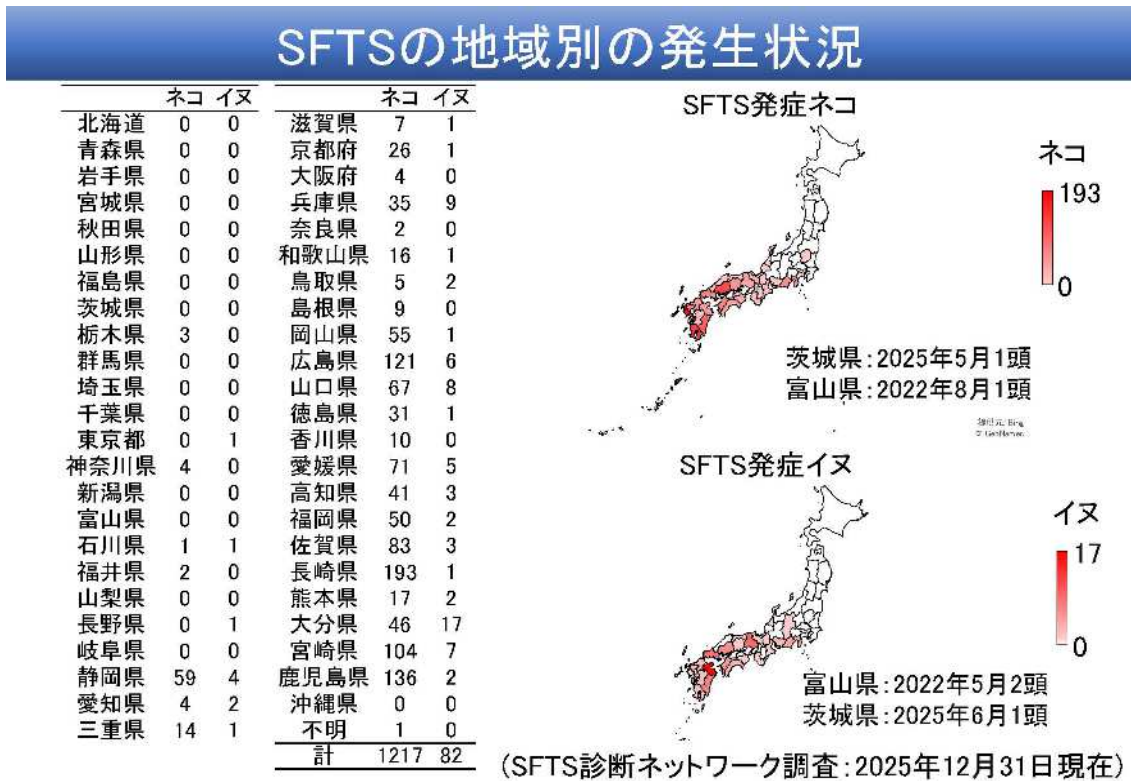
図3. SFTS届出症例の推定感染地域 (n=1,242、2025年10月31日現在)



| 推定感染都道府県 | 届出数 |
|----------|-----|
| 北海道 | 1 |
| 茨城県 | 2 |
| 栃木県 | 1 |
| 神奈川県 | 1 |
| 富山県 | 2 |
| 石川県 | 2 |
| 福井県 | 4 |
| 山梨県 | 1 |
| 岐阜県 | 1 |
| 静岡県 | 29 |
| 愛知県 | 11 |
| 三重県 | 40 |
| 滋賀県 | 3 |
| 京都府 | 19 |
| 大阪府 | 5 |
| 兵庫県 | 25 |
| 奈良県 | 1 |
| 和歌山県 | 42 |
| 鳥取県 | 12 |
| 島根県 | 65 |
| 岡山県 | 39 |
| 広島県 | 92 |
| 山口県 | 92 |
| 徳島県 | 41 |
| 香川県 | 31 |
| 愛媛県 | 51 |
| 高知県 | 100 |
| 福岡県 | 38 |
| 佐賀県 | 28 |
| 長崎県 | 99 |
| 熊本県 | 55 |
| 大分県 | 69 |
| 宮崎県 | 121 |
| 鹿児島県 | 90 |
| 沖縄県 | 2 |
| 不明 | 27 |

(2) 動物における SFTS の発生状況

SFTS 診断ネットワーク調査のデータにおいて、2024 年末までに神奈川県内で動物の SFTS 症例は発生していないが、2025 年に入り、12 月 31 日までに 4 例のネコ症例が確認されている⁵。発生地域は、ヒト症例と同様に西日本が中心であるが、東日本でも増加しており、県内獣医師との情報共有が求められる。



SFTS 診断ネットワーク 提供資料⁵より

(3) SFTS に対するファビピラビル製剤（販売名：アビガン錠 200mg）の使用について

2024 年 6 月 24 日にファビピラビルの SFTS に対する適応追加が承認されたが、投与に際しては、重症感染症診療体制が整備され、緊急時に十分な措置が可能な医療機関において、十分な知識を持つ医師のもと、入院管理下で投与することが求められている⁶。事前に研修を受けて登録された医師のみが処方可能であり、県内発生の場合は、症例により処方医の在籍施設を案内する予定である。

(4) 参考文献

1. 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所. 感染症発生動向調査で届出られた SFTS 症例の概要 (2025 年 10 月 31 日現在). <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idss/target-diseases/sfts/201303-202501/20251125161623.html>
2. 厚生労働省, 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所. IDWR 2025 年第 52 週 (第 52 号). <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/idwr/2025/idwr2025-52.pdf>
3. 神奈川県. 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 患者の発生に伴う注意喚起について (第 2 報). 2025 年 7 月 17 日. <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/prs/r9064576.html>
4. 札幌市. 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) の発生について. 2025 年 8 月 7 日. https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/flkansen/documents/20250807press_2.pdf
5. SFTS 診断ネットワーク. 動物における SFTS 県別・月別発生状況 2025 年 12 月.
6. 富士フィルム富山化学株式会社. アビガン®錠 200mg 重症熱性血小板減少症候群ウイルス感染症. <https://hc.fujifilm.com/fftc/ja/products/pharmaceuticals/low-molecular/avigan/sfts>